

熊本城特別公開

第3弾



いよいよ天守閣の内部公開!

熊本地震から5年。天守閣の復旧完了に伴い、4月26日(月)から特別公開第3弾として天守閣の内部を一般公開します。リニューアルした展示や、天守閣最上階からの眺めをお楽しみください。

公開開始日

4月26日(月)

公開時間

午前9時～午後5時
(最終入園 午後4時半)

※4月29日(祝)～5月5日(祝)は夜間公開のため、午後9時まで開園時間を延長。

入園料

高校生以上	800円(640円)
小・中学生	300円(240円)
未就学児	無料

※()料金は30人以上の団体料金

市内に在学する小・中学生、身体障害者手帳などの交付を受けている方、市内在住の65歳以上の方、城主手形をお持ちの方など入園料が免除となる場合があります。

詳しくは、熊本城総合事務所(☎096-352-5900)へ。

◆天守閣内部の見どころ◆

リニューアルした展示は、熊本城の「天守」の歴史にクローズアップし、築城から西南戦争での焼失、昭和35年の再建、平成28年熊本地震での被災と復旧までを各フロアごとに模型・映像などで分かりやすく解説しています。



6階 展望エリア

最上階からは、復旧・復興が進む熊本城と熊本の街並みを展望できます。また、スマートフォンARアプリを使って、明治初期に撮影された古写真(天守最上階からの眺め)を現代の景色に重ねて表示・閲覧することができます。



4階 現代・復興城主 デジタル芳名板

昭和・平成の熊本城の保存と整備、平成28年熊本地震による熊本城の被害と天守閣の復旧について、映像やパネルを用いて紹介しているほか、復興城主デジタル芳名板を設置しています。



3階 近代

明治時代以降に軍の管理下に置かれた熊本城の歴史、西南戦争と天守の焼失、明治22年の熊本地震、昭和35年の天守再建までを映像などで紹介しています。



2階 細川時代

239年にわたって熊本城を管理した細川家の時代では、発展した城下について模型を用いて紹介しています。また、細川時代に天守に保管されていたとされる甲冑等の武具レプリカの展示や、藩主の登城の様子を映像を用いて解説しています。



1階 加藤時代

加藤清正による築城や河川改修による城下の整備の歴史のほか、江戸時代の天守のつくりやデザインについて大型の模型を用いて解説しています。



地階 穴蔵

天守閣のエントランスとなる小天守地階は、石垣や井戸などの現存する遺構を生かし、江戸時代は台所の役割を持っていた空間をイメージできるような平面表示を行っています。